
1. 学歴

- 1987年 3月 東京大学経済学部卒業
1993年 6月 オックスフォード大学経済学研究科修士課程修了
2001年 6月 オックスフォード大学経済学研究科博士課程修了

2. 職歴・研究歴

- 2020年 4月 - 7月 一橋大学国際・公共政策大学院 非常勤講師
2020年 8月 - 一橋大学大学院経済学研究科 教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(b) 大学院

Central Banking, Monetary Policy in Theory and Practice, Microeconomics for Public Policy, 金融論

B. ゼミナール

大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

政策実務に資する理論・実証の知識をバランスよく習得させることを目標にしている。

4. 主な研究テーマ

- (1)インフレ動学
(2)マクロ経済政策

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

- * "Financial Liberalization, the Wealth Effect, and the Demand for Broad Money in Japan," *Monetary and Economic Studies*, Vol.16, No.1, 1998, pp. 355-365.
* "Forbearance Lending: The Case of Japanese Firms," (Keiichiro Kobayashi, Yumi Saitaとの共著), *Monetary and Economic Studies*, Vol.21, No.2, 2003, pp.69-92.
* 「いわゆる『追い貸し』について」(小林慶一郎, 才田友美との共著)『金融研究』22 巻 1 号, 2003 年, 129-156 頁。
* "Firm Investment, Monetary Transmission and Balance-Sheet Problems in Japan: An Investigation Using Micro Data," *Japan and the World Economy*, Vol.17, No.3, 2005, pp.345-369.
"Non-Performing Loans and the Real Economy: Japan's Experience," (Nobuo Inaba, Takashi Kozu, Takashi

Nagahata との共著), *BIS Paper*, Vol.22, 2005.

- * "Land as Production Input and Collateral: Land Investment by Japanese Firms," (Towa Tachibana との共著), *Journal of Real Estate Finance and Economics*, Vol.35, No.4, 2007, pp.497-526.
- * "Monetary Factors and Inflation in Japan," (Katrin Assenmacher-Wesche, Stefan Gerlach との共著), *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol.22, No.3, 2008, pp.343-363.
- * "Another Look at Global Disinflation," *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol.22, No.2, 2009, pp.220-239.
- "Chronic Deflation in Japan," (Kenji Nishizaki, Yoichi Ueno との共著), *Asian Economic Policy Review*, Vol.9, No.1, 2014, pp.20-39.
- 「慢性デフレはなぜ起こったか: 仮説のレビューと複合的実態の把握」(上野陽一, 西崎健司との共著)『慢性デフレ真因の解明』(渡辺務編), 2016 年。
- * "The Impact of Regime Change on the Influence of the Central Bank's Inflation Forecasts: Evidence from Japan," (Masazumi Hattori, Steven Kong, Frank Packer との共著), *International Journal of Central Banking*, Vol. 17, No. 4, 2021, pp.257-290.
- * "Looking from Gross Domestic Income: Alternative View of Japan's Economy," *Japan and the World Economy*, Vol. 64, 2022.

(d) その他

- 「物価を視点とした日本経済」、『月刊 資本市場』, 395 号, 2018 年, 4-13 頁。
- 「日本経済・物価の現状と今後の展望」、『証券アナリストジャーナル』, 56 巻 12 号, 2018 年, 69-81 頁。
- 「日本経済・物価の現状と今後の展望」、『証券アナリストジャーナル』, 58 巻 1 号, 2020 年, 66-76 頁。
- 「フィリップス曲線と日本銀行」,(原尚子, 小池良司との共著)『日銀レビュー』, 2020 年。
- 「中銀デジタル通貨の経済学」、『証券アナリストジャーナル』, 59 巻 1 号, 2021 年, 85-94 頁。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

- "Panel on Monetary Policy," Japan Economy Network Annual Conference, パネリスト (2018 年 9 月 5 日, チューリッヒ)
- "Why Forecasters Disagree on Japan's Inflation Outlook?" Japan Economy Network Annual Conference, (2019 年 8 月 26 日, 東京)
- 「コロナ・ショックと国際金融市場」, 日本金融学会 2020 年度秋季大会, 国際金融パネル, パネリスト (2020 年 10 月 31 日, オンライン)
- 「どのように金融政策を教育すべきか, 発信すべきか, 理解すべきか」, 日本金融学会 2020 年度秋季大会, 中央銀行パネル, パネリスト (2020 年 11 月 1 日, オンライン)
- 「中銀デジタル通貨(CBDC)のインパクト」, 日本金融学会 2021 年度春季大会, 共通論壇, 座長 (2021 年 5 月 31 日, オンライン)
- "Interregional flow of funds in Japan via loans and deposits of financial institutions, and its determinants," 日本金融学会 2021 年度秋季大会, 討論者(2021 年 10 月 17 日, オンライン)
- "Individual Trend Inflation," Computational and Financial Econometrics, 15th International Conference (2021 年 12 月 19 日, オンライン)

"Another Look at Japan's Gross Domestic Income," 東京経済研究センター「金融班研究会」, 東京大学「政府統計プロジェクト室」, (2022年3月26日, 京都)

"Individual Trend Inflation," 16th International Symposium on Econometric Theory and Application (2022年7月21日, オンライン)

"Individual Trend Inflation," SWET (2022年8月7日, 小樽)

"Dark Matter of Japanese Government Bonds," 東京経済研究センター, 金融班委員会・夏合宿 (2022年9月3日, 小樽)

"Individual Trend Inflation," Computational and Financial Econometrics, 16th International Conference (2022年12月18日, オンライン)

(b) 国内研究プロジェクト

公益社団法人・日本経済研究センター, 研究奨励金, 「インフレ予想の Disagreement について」, 2021年度, 代表者 関根敏隆

科学研究費補助金基盤研究(B)「金融政策と財政政策の相互連関に関する研究」(No. 21H00705), 2021 - 2023年度, 代表者 関根敏隆

(c) 国際研究プロジェクト

一橋大学社会科学高等研究院グローバル経済研究センター, "Development of Macroeconometric Models with Applications to Macroeconomic Problems," 代表者 塩路悦郎

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

慶応大学商学部非常勤講師(2022年 -)

東京大学国際公共政策大学院非常勤講師(2019 - 2020年)

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会

Australian National University, Center for Applied Macroeconomic Analysis, Macroeconomic Policy Frameworks Program, Director

(c) 公開講座・開放講座

東京大学経済学部, 東京大学経済学部創立百周年記念第5回講演会, "Is the Phillips Curve Getting Flatter?" パネリスト (2020年2月20日, 東京)

一橋大学経済研究所, 2022年度第3回一橋大学政策フォーラム, 「新型コロナウイルスと金融・財政政策」パネリスト (2022年1月21日, オンライン)

(e) その他(公的機関・各種団体・民間企業等における講演等)

「日本経済・物価の現状と今後の展望」, 日本FP協会 (2018年5月12日, 東京)

「日本経済の展望」, ロイター社 (2018年5月17日, 東京)

「日本経済・物価の現状と今後の展望」, 日本証券アナリスト協会 (2018年8月29日, 東京)

- 「日本の経済統計と金融政策」, ナウキャスト社 (2018年11月13日, 東京)
- "Does Demography Really Matter?" G20 Symposium, (2019年1月17日, 東京)
- "The Impact of Regime Change on the Influence of the Central Bank's Inflation Forecasts: Recent Evidence from Japan," Reserve Bank of New Zealand - IMF Conference on Inflation Targeting, (2019年8月29日, ウェリントン)
- 「近年のインフレ動学を巡る論点: 日本の経験」, 東京大学金融教育センター・日本銀行調査統計局共済コンファレンス, パネリスト (2019年4月15日, 東京)
- 「日本経済・物価の現状と今後の展望」, 日本証券アナリスト協会 (2019年9月24日, 東京)
- "Effects of State-Dependent Forward Guidance, Large-Scale Asset Purchases and Fiscal Stimulus in a Low-Interest-Rate Environment," 討論者, Swiss National Bank Research Conference (2019年9月20日, チューリッヒ)
- "Aging and Its Fiscal Policy Implication: Highlights of G20 discussion," Tokyo Fiscal Forum (2019年11月21日, 東京)
- "Outlook of Japan's Economy and Monetary Policy," Nomura Investment Forum (2019年12月4日, 東京)
- 「統計不正問題について思うこと: 統計メーカーの視点もまじえて」, 金融構造研究会 (2019年12月26日, 東京)
- 「新春展望 日本経済はどこに行くのか」, 日本科学機器協会 (2020年1月14日, 東京)
- 「中銀デジタル通貨の経済学」, 日本証券アナリスト協会 (2020年9月24日, オンライン)
- 「長期停滞におけるマクロ・金融政策の行方」 パネリスト, 日本経済研究センター (2020年10月6日, オンライン)
- "Economic Crisis and Recovery," Australian National University, Japan Update 2020, パネリスト (2020年9月9日, オンライン)
- 「コロナ禍に揺れる内外経済の見通し」, 日本記者クラブ (2021年1月15日, 東京)
- 「CPI 基準改定を受けて、改めて問う日本の政策課題」, 日本経済研究センター (2021年10月8日, オンライン)
- 「2022年 内外経済展望」, 四国生産性本部 (2022年3月24日, オンライン)

8. 官公庁各種審議会・委員会等における活動

統計委員会(2015年4月 - 2019年3月)

国際協力機構「フィリピン国マクロ経済分析・予測能力向上に係る基礎情報収集・確認調査」(2020年12月 - 2021年2月)

国際協力機構「フィリピン国マクロ経済・金融分析予測能力強化」(2021年2月 -)

国際協力機構「カンボジア国金融政策のための経済分析・調査・運営能力強化」(2023年2月 -)

9. 一般的言論活動

「危機後の金融政策の枠組み(下) 物価安定目標に強い関与を」(若田部昌澄との共著), 『日経新聞』, 経済教室, 2020年7月1日

「コロナ禍による死者数が本当は分からない日本, 統計の致命的瑕疵」(肥後雅博との共著), 日経ビジネス電子版, 2021年2月4日

「公正・平等とは言えない時短協力金, エビデンス重視に改革できる」(肥後雅博との共著), 日経ビジネス電子版, 2021年2月8日

"Japan's Narrowing Options on Monetary Easing," East Asia Forum, 21 August 2021

「朝の口頭試問」, 『日経新聞』, 交遊抄, 2022年3月10日